

ドライブレコーダー機能付

# 10.88インチ デジタルルームミラー

## 【取扱説明書】

MDR-G006A / MDR-G006B

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
なお、お読みになった後も大切に保管してください。



**MAXWIN**

## 目次

■使用上のご注意	1	■駐車監視録画	27
■安全上のご注意	4	■データ再生	28
■取付について	7	■バック連動	30
・安全上のご注意	8	■よくある質問	31
・付属品	11	■製品仕様	32
・作業の進め方	11	■ファームウェアについて	33
・本体の動作確認	12	■商品保証書	34
・本体の取付	12		
・配線イメージ	14		
・配線方法	15		
・リアカメラの設置例	16		
・取付時のご注意	17		
■本体各部名称	18		
■microSDカードの挿入・取り出し	19		
■電源のON/OFF	20		
■日時表示	21		
■画面調整	22		
■メニュー	23		
■液晶表示OFF	24		
■各種設定	25		
■録画モード	26		

## 使用上のご注意

### 本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- あらかじめ死角範囲を確認してください。リアカメラには死角があります。また通常のルームミラーとは後方の見え方が異なります。システムを過信せず、安全運転を心がけてください。
- 運転前は、必ずミラー状態で、ドライビングポジションを取り、車両後方が見えるようにミラー本体の位置合わせを行ってください。
- ミラーとリアカメラの取付位置の違いにより、目が疲れたり、対象物の大きさが異なって見える場合があります。
- 外部環境の乱反射により画面がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- 夜間や暗い場所、照明の下などでは、モニターの映像と実際の色味が異なることがあります。
- 映像がはっきり視認できないときは、ミラーとしてお使いください。
- サンルーフ装着車の場合、サンルーフから日光がミラーに当たり見づらいときはシェードを閉めるか、ミラーとしてお使いください。
- LED光源を使用した照明が映ったときは、映像がちらつく場合があります。
- 本機は常時記録型の映像を記録する装置です。イベント映像(手動、衝撃検知、駐車監視)も記録できますが、すべての状況において映像が記録できることを保証したものではありません。

※以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などでバッテリーと本機との電源コードが断線した場合
- 7.低速で衝突、または、相手車両との相対速度が小さい状態で衝突した場合
- 8.自車両、相手車両の衝突緩和箇所に衝突した場合

※7.8.バンパー・ドア・タイヤボックスなどで衝撃が緩和されるので、見た目より衝撃が発生しないことがあります。エアバックが開かないような低衝撃の事故は検知できない場合があります。

- 9.自車両に対して相手車両が軽い、または、相手が人や自転車の場合
- 10.相手車両の側面をこするように衝突した場合

※9.10.相手車両が軽かったり(自動車対人、自動車対自転車など)、相手車両が回転すると、衝突時の衝撃が受け流され、自車両への反発の衝撃が小さくなります。

## 使用上のご注意

### 11. 雪道や凍結路で急ブレーキをかけた場合

※雪道や凍結路では、タイヤと路面との摩擦が少なく、小さい衝撃でもスリップしますので、Gセンサーでの検知が困難になります。

### 12. 衝撃が弱く、本機が検知するように設定されたセンサー感度に満たない場合

### 13. 本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

■本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。

■故障や本体の使用によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。

■録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。

■運転者は走行中にモニターを注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。

■本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。

microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。

■本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。

■車両バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、駐車録画は動作しないことがあります。

■記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。

## 使用上のご注意

### 【microSDカード(別売)について】

- microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。
- 本機を安定してご使用いただくために、microSDカードは1週間毎にフォーマットしてください。また、Gセンサー作動によりロックファイルが生成されると上書きできなくなりますので同じくフォーマットしてください。
- microSDカードを使用した場合の動作保証及びデータの損傷、破損については一切保証いたしかねます。

## 安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

### 警告

- 本機はDC12/24Vマイナスアース車専用です。(リバース連動線12V対応のみ) 12V普通車と大型トラックや冷却地仕様様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車にはご使用いただけません。火災や事故の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。  
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。  
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。  
事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください。  
規定容量を超えるヒューズを使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げになった販売店に相談してください。  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。  
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。  
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。  
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。  
火災や感電の原因となります。

## 安全上のご注意



- 本機の取り付け時は、安全のため必ず専門の業者に依頼してください。取り付けには専門技術が必要です。
- 車検証シールを貼り替えの際は、カメラの撮影範囲内に車検証シールを貼らないようにしてください。
- 本機を車載用以外は使用しないでください。  
感電や怪我の原因となることがあります。
- 本機は、運転時の状況を記録することが目的です。その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、強い力やショックを与えることはしないでください。  
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、素手で触らないでください。  
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。  
けがの原因となることがあります。
- フロントガラスのお手入れの際は、本機及びコードを強く引っ張らないでください。  
本機がはずれるおそれがあります。  
(はずれた場合は、お買い上げの販売店にご相談ください)
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。  
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。

## 安全上のご注意

- microSDカードを抜く場合はエンジンオフ(ACCオフ)後、画面が黒くなってから抜いてください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、誤動作や故障の原因となります。特に夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどをして温度を下げてからご使用ください。
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。  
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ずエンジンオフ(ACCオフ)になっていることを確認して行ってください。本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人の障害物は、実際の位置や距離と異なって見えることがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあてないでください。故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因となります。
- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいてください。乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。  
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。



## 取付について

### ■お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
- 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
- 本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。
- ご使用の前に、「取扱説明書」をよくお読みの上、お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 定期的に取り付け状態を点検してください。

### ■作業の前に

- 異常発生時やお問い合わせはまず、購入された販売店、またはサポートにご相談ください。  
(サポート: support@maxwin.jp)  
お客様による修理/分解は、絶対おやめください。
- 取り付ける前に構成部品をご確認ください。
- 取り付けには、内張り外し道具、養生テープ、布、ドライバー(プラス)、ニッパー、ベンチ、カッターナイフ、結束バンド、通線ワイヤーが必要です。
- ねじやボルト、ナットの取り付けには、寸法の合う工具をお使いください。


## 安全上のご注意(必ずお守りください)


説明書に記載されている注意事項を守っていただけないことによって生じる不具合に対しては責任を負いかねますのでご注意ください。


正しく取り扱わなかった場合や、常識を超えた使い方をされた場合などは、保証適用外となりますので安全に正しくお使いください。


■守っていただきたい内容を、次の図記号で説明しています。


 **禁止** してはいけない  
内容です。


 **実行** しなければならない  
内容です。


 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重症を負う危険な状態が生じることが想定される内容を示します。


 **本機はDC12/24Vマイナスアース専用です**  
12V普通車と大型トラックや冷却地仕様のディーゼル車などの24V車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や事故の原因となります。

 **取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずしてください**  
プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。









 **車体に穴をあけて取り付ける場合は、注意して作業を行ってください**  
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。火災の原因となります。

 **ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください**  
破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

 **車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。**  
保安部品を使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

 **画面が出ない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください**  
そのまま使用すると、事故、火災、感電の原因となります。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

-  **車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください**  
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
-  **エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしないでください**  
車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバック動作を妨げる場所に取り付け・配線すると誤作動を起こしたり、交通事故の際に、エアバックシステムが正常に動作しないため、怪我の原因となります。
-  **電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対止めてください**  
電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
-  **本機を分解したり、改造しないでください**  
事故、火災、感電の原因となります。
-  **ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用してください**  
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
-  **万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変なおいがるなどの異常が起きた場合は、直ちに使用中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください**  
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
-  **接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください**  
ショートにより、火災、感電の原因となります。
-  **コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておいてください**  
テアリングシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)



**注意**

取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じることが想定される内容を示します。



**本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です**

安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。



**しっかりと固定できないところや振動の多いところやリアウィンドウに張り巡らされた熱線への取り付けは避けてください**

本機が外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。



**湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください**

本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。



**コードが金属部に触れないように配線してください**

金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。



**コード類を決して途中で切断しないでください**

コード類には、ヒューズなどが付いている場合があるので、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

## 付属品

<p>本体</p> 	<p>リアカメラ</p>  <p>または</p>  <p>車外設置用リアカメラ MDR-G006A</p> <p>車内設置用リアカメラ MDR-G006B</p>	
<p>シガーアダプター</p> 	<p>リアカメラ接続コード</p> 	<p>取付ゴム</p> 

- 本書で使用している写真は、実際の製品と異なる場合があります。
- 本機の外観は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## 作業の進め方

1. 同梱物を確認する(→付属品)
2. 動作確認を行う(→本体の操作確認)
3. ミラー本体をセットアップする(→取付方法)
4. ミラー本体を車両に取り付ける(→取付方法)
5. リアカメラを車両に取り付ける(→カメラの設置)
6. シガーアダプターを接続して電源を入れる
7. カメラ角度を微調整する(→カメラの設置)

## 本体の動作確認

本取付前、製品が正しく動作するかを確認ください。

1. 本体にシガーアダプター、リアカメラを接続する。
2. シガーアダプターをシガーソケットに接続する。
3. microSDカードを装着する。※1、※2
4. 本体を動作確認する(リアカメラ、録画) ※3
5. 電源OFFする。シガーアダプターを外し、本取付を行う。

※1. microSDはClass10以上、8~128GBまでのカードをご利用ください。

※2. SDカードは本体からフォーマットを行ってください。

※3. 録画中は設定操作できません。録画停止してから設定を行ってください。

## 本体の取付

本体を取り付ける前に仮配線して動作確認してください。

車両の内装、ピラーの外し方は各自動車メーカーにご相談ください。

### 1 本体裏面



### 2 取付ゴムを取り付け固定具の上側に引っ掛けます。



※写真は汎用品です

## 本体の取付

- 3** 純正ミラーを挟み込んで、取付ゴムを取り付け固定具の下側に引っ掛けます。

※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。



- 4** もう一方の取り付け固定具にも取付ゴムを設置し、本体の位置を調整します。  
※取り付けの際、本体をしっかりと支えながら取り付けてください。



※写真は汎用品です

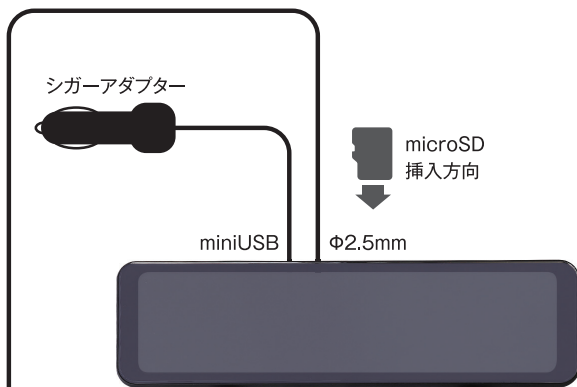
- 5** レンズ部分は左右にスライドできます。ミラーの大きさによって調整できます。



- 6** 本体が確実に装着されていることを確認のうえ、使用してください。

## 配線イメージ

リアカメラ接続ケーブル



リアカメラ

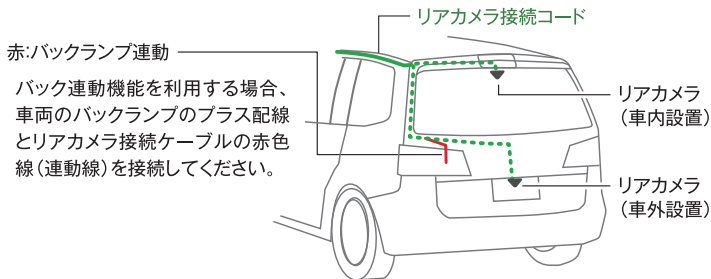
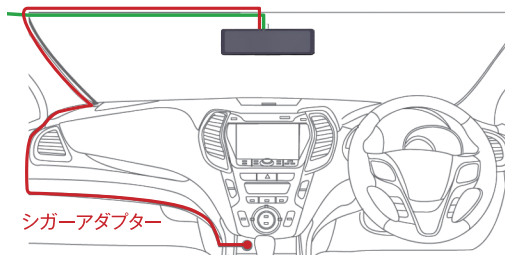


バック連動線



## 配線方法

- 1 天井裏やピラー内部を這わせてケーブルを通します。  
フロントカメラはフロントガラスに設置します。  
シガーアダプターはシガーソケットに接続します。
- 2 同様にリアカメラ接続ケーブルをピラー内部を這わせて後部に通り、リアカメラに接続します。



※バック連動線は適度な長さにカットしての使用も可能です。

※24V車の場合は連動線先にDC・DC (24V→12V) コンバーターをご使用ください。

※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。

リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

## リアカメラの設置例

### 車外設置用リアカメラの場合 ※MDR-G006A

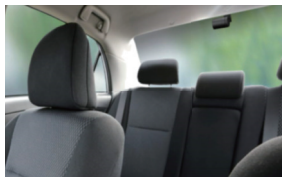
ナンバープレート上部に両面テープで設置します。※ネジで固定することもできます。



### 車内設置用リアカメラの場合 ※MDR-G006B

リア窓ガラス内側に両面テープで貼り付けます。

※車内設置用リアカメラは防水対応ではありません。  
窓ガラスの内側に貼り付けてください。



※バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が挟まれていないことを確認し、配線を行なってください。リアカメラ及びケーブルに損傷ができるとカメラ内部やケーブルに水が入り破損の原因となることがあります。

## 取付時のご注意

1. 運転操作や車の可動部に干渉しないように取り付けてください。
2. ネジやシートレールなどの可動部にケーブルを挟み込まないようにしてください。  
車体に穴をあける時は、パイプ、タンク、電気配線を傷つけないように注意してください。
3. 両面テープを使用して固定する時はアルコールクリーナー等で取付面に付着している油分などを取り除いてください。
4. 取付面の温度が低い時は、接着力を上げるためドライヤー等で暖めてから作業を行ってください。
5. 両面テープは貼り直しをしないでください。極度に接着力が低下します。
6. 先に仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから取り付けを行ってください。
7. 取付後24時間以内はカメラに無理な力をかけないでください。
8. 本製品を分解、改造しないでください。保証対象外になります。
9. 本製品を動作するには定格DC12/24Vの電圧が必要です。定格外電圧では動作しません。複数のモニターや電化製品を多数取り付ける場合は電圧降下する可能性があります。その際は安定した電源の対策を施してから取付してください。
10. 接続した線は必ず絶縁をしてください。ボディーと接触するとショートします。
11. リアカメラを取付ける位置は「道路運送車両の保安基準第18条」に適合させる必要がありますので、ご注意ください。
12. 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
13. シガーアダプターを取り付けた状態でエンジンをかけた場合、保証電圧範囲(12/24V)を超えたり電圧変動が起きる可能性があり、シガーアダプターや本体故障の原因になることがあります。

## 本体各部名称

本機の各部名称は以下の通りです。



NO.	名称	働き
①	miniUSBコネクタ	電源入力端子 (DC5V 3A) シガーアダプター接続
②	2.5mmコネクタ	リアカメラ映像信号入力端子
③	microSDスロット	micro SDカードを挿入します (最大128GB (Class10かつFAT32) まで対応)
④	使用しません	—
⑤	液晶モニター	10.88インチミラー型タッチパネルLCDスクリーン
⑥	電源ボタン	長押しで電源をON/OFFします
⑦	取付ゴム固定具	取付ゴムを引っ掛けて本体を固定します
⑧	フロントカメラ	動画や静止画像を撮影します。
⑨	リセットボタン	本体がリセットされます。※

※本体が正しく動作しなくなった時にリセットしてください。強制的に再起動します。

## microSDカードの挿入・取り出し方法

### ■microSDカードを挿入する

microSDカードは下図の向きでカードスロットに挿入します。

※「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



### ■microSDカードを取り出す

車両のエンジンを停止し、ミラー本体の電源をOFFにします。

microSDカードを軽く押し込み、少し飛び出してから丁寧に引き抜きます。

※無理な力で行うと破損の原因になります。

※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



### ■使用できるmicroSDカードについて

本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」をmicroSDカードと総称して表示しています。

本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。

・microSDHCカード

容量:8~32GB、スピードクラス:CLASS10以上

・microSDXCカード

容量:32~128GB、スピードクラス:CLASS10以上

※microSDXCカードを使用する場合は、初めに本機でフォーマットを行なってください。

## 電源のON/OFF

### ■電源ON

車のエンジンを始動 (ACCをON) すると自動的に起動します。  
起動と同時に録画が自動的に始まります。



電源ON

### ■電源OFF

車両のエンジンを停止 (ACCをOFF) すると、録画が自動的に停止します。



電源OFF

### 録画中マークについて

録画中は黄色の丸で表示されます。

## 日時表示

### ■日時表示

画面右側に表示します。



### ⚠ 日時表示について

期間を開けて使用する場合は日時表示や各種設定がリセットされることがあります。  
日時を手動にて設定し直してください。

## 画面調整

### ■アングル調整

カメラ表示モード中に画面左側をタッチし上下にスライドすると、カメラ表示アングルも上下に動かすことができます。



### ■明るさ調整

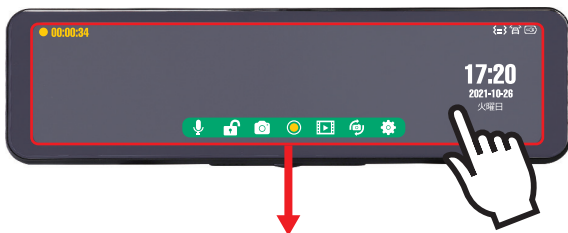
画面右側をタッチし上下にスライドすると、明るさを調整できます。





## メニュー

画面をタッチするとメニューが表示されます。



● 録画マーク…録画中は黄色で表示します。

17:20  
録画中  
日時表示…日付と日時を表示します。

🎤 録音マーク…録音設定のON/OFFを表示します。

🔒 ロックボタン…録画中の動画をロック/ロック解除します。

📷 静止画ボタン…静止画を撮ります。

● 録画ボタン…録画のON/OFFを切り替えます。

▶ 再生ボタン…動画と静止画を再生します。

🔄 表示切替ボタン…カメラ表示を切り替えます。

⚙️ メニューボタン…録画を停止してからメニュー操作できます。

📶 Gセンサーマーク…GセンサーをONにすると表示します。

📹 駐車監視マーク…駐車監視機能をONにすると表示します。

🔌 電源マーク…電源接続時に表示されます。

## 液晶表示OFF

電源ボタン短押しでカメラ表示がOFFになり、通常のミラーとしてご使用いただけます。

再度電源ボタンを短押しまたは画面タッチでデジタルミラーに戻ります。

※スクリーンセーバー機能をONにすると、操作しないまま設定した時間を過ぎると自動的に表示OFFになります。



液晶表示OFF

## 各種設定

メニュー画面で設定ボタンをタッチして各項目を設定します。



設定変更したい項目をタッチして選択し、設定内容を変更します。

⬆️⬇️ をタッチでページ切替、⬅️ をタッチでカメラ表示画面に戻ります。

- ループ録画 …………… 1データごとの録画時間を設定します。
- 録音 …………… 音声録音のON/OFFを設定します。
- Gセンサー …………… Gセンサーの感度を設定します。
- 駐車監視 …………… 駐車監視時のGセンサー感度を設定します。  
※オフの場合、駐車監視は機能しません。
- リアカメラ鏡像 …………… リアカメラ表示・録画映像の正像/鏡像を設定します。
- スクリーンセーバー …………… 画面の自動表示OFFを設定します。  
※オフの場合は常に画面を表示します。
- 周波数設定 …………… 周波数を設定します。
- 操作音 …………… 操作音のON/OFFを設定します。
- 言語 …………… 表示言語を設定します。
- 日時設定 …………… 表示日時を設定します。  
※変更したい数値をタッチして+/-で変更し、OKで保存します。  
※日付および時間の  枠をタッチすると表示方法を変更します。
- フォーマット …………… microSDカードをフォーマットします。
- 設定初期化 …………… 設定を工場出荷状態にします。
- バージョン …………… ファームウェアのバージョンを表示します。

## 録画モード

### ■通常録画

車のエンジンに連動して電源がONになり、録画が開始されます。


設定により、1分/3分/5分と録画時間を変更できます。(初期値は1分)

microSDカードの録画領域がいっぱいになると、古いファイルから新しいファイルに上書き録画されていきます。

【録画時間を1分に設定】



### ■緊急録画

録画中、「」ボタンをタッチまたは本機に搭載されているGセンサーが衝撃を検知すると、緊急モードで録画を開始します。

緊急録画中はアイコンが「」になります。



※ロックされたファイルは上書きされません。

必要に応じて、microSDカードのデータをパソコンに保存してください。

### ご注意

- Gセンサー感度が「高」に設定されている場合、衝撃を検出しやすくなります。  
Gセンサー感度が「低」に設定されている場合、強い衝撃のみ検知します。
- Gセンサーによる衝撃検知で撮影された映像や、ファイルロックされたデータは保護ファイルとして保存され、上書きされません。  
ロックされたファイルが増えると、緊急録画ファイルを保存することができなくなりますので、必要に応じてファイルを削除してください。

## 駐車監視録画

駐車監視録画を行うには、設定メニューの「駐車監視」を低/中/高のいずれかに設定してください。

### ■衝撃検知録画

車両のエンジンを停止 (ACCオフ) すると、約5秒後に本体の電源がオフになります。本体の電源がオフになってからさらに約5秒後、衝撃検知録画スタンバイ状態になります。本体に搭載されたGセンサーが衝撃を検知すると、自動的に約30秒間の緊急録画を行い、録画終了後に再び衝撃検知録画スタンバイ状態に移行します。車両エンジンを始動 (ACCオン) すると、本体の電源がオンになり、常時録画が開始されます。



### ご注意

- 「駐車監視」をオフに設定すると、衝撃検知録画スタンバイ状態に移行されません。
- 衝撃検知録画は本体の内蔵バッテリーによって動作します。内蔵バッテリーの状態によって衝撃検知録画衝撃録画が稼働できる時間は異なります。内蔵バッテリーの容量が10%以下だと録画することができません。
- 衝撃検知録画で撮影された映像ファイルはロックされ、上書きされません。
- ドアを締めたときの衝撃を検知して、衝撃検知録画が動作することがあります。
- リアカメラによる衝撃検知の機能は働きません。

### ■本体で再生

メニュー画面で再生ボタンをタッチして再生画面を表示します。

※再生画面を表示させるには録画を停止してください。

再生ファイル選択画面では、まずフロント/リアカメラフォルダからどちらかを選択し、通常録画/緊急録画/静止画フォルダから任意のフォルダを選択、再生したいファイルをタッチして再生を開始します。

### ●ファイル選択画面



①…カメラ表示画面に戻る

②③…ページ切替

④…ページ表示

⑤…サムネイル

⑥…ファイル編集 ※フォルダ選択画面では操作できません。

⇒任意のファイルを選択し、ロックや削除を行います。

⑦…通常録画/緊急録画/静止画切替 ※フォルダ選択画面では操作できません。

⑧…1つ前の画面に戻る

## データ再生

### ●ファイル再生画面



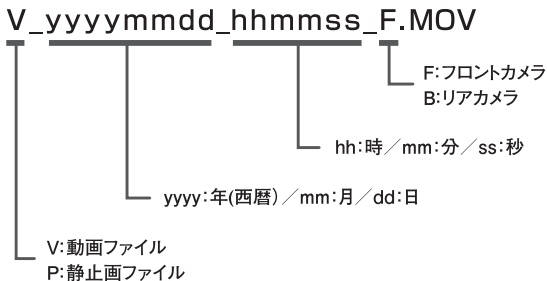
- |           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| ①…ファイル名   | ④…早戻し       | ⑦…削除        |
| ②…再生時間    | ⑤…早送り       | ⑧…全画面表示     |
| ③…再生/一時停止 | ⑥…ロック/ロック解除 | ⑨…1つ前の画面に戻る |

### ■パソコンで再生

録画済みのmicroSDカードをパソコンに読み込んで、再生したいファイルを開きます。

### ●ファイル名について

ファイル種類+録画した年月日、時分秒の組み合わせで作成します。



## バック連動

バック連動線を接続している場合、バックギア入力時にバック補助線が表示されます。

リアカメラ映像

通常時



バックギア入力時

### ■バック連動画面のアンクル調整

初期設定では、バック連動時にバック画面のアンクルは一番下に向いています。

バックのアンクル角度も手動で調整可能です。

調整後にバック連動すると画面がその角度で表示されます。



## よくあるご質問

ご質問	回答
電源が入らない	電源の接続をご確認ください。 本機に電源が供給されていない可能性があります。 お買い上げの販売店にご相談ください。
液晶画面が反応しない	電源ボタンを押して一度シャットダウンし、再度ボタンを押して起動してください。または電源コードを接続しなおしてください。
記録したはずの映像がない	microSDカードの記録可能時間の上限を超えると、古い映像から上書き保存していきます。必要に応じてmicroSDカードのデータをパソコンに保存してください。
microSDカードに記録できない	microSDカードに異常がある場合があります。microSDカードのフォーマットを行ってください。 microSDカードは書き込み回数などの寿命があります。フォーマットを行っても異常がある場合は新しいカードに交換してください。
頻繁に衝撃録画を行う	Gセンサー感度が良すぎて衝撃を感知してしまっています。 感度を低く設定してください。(高→低)
時計がずれている	本機を充電し、再度日時設定を行なってください。
ディスプレイに操作ボタンが表示されない	起動後、画面操作を10秒間しないと自動的に表示が消えます。
ブザー音が流れない	本体設定のスピーカー音量が『OFF』になっていないかご確認ください。
設定が保存されない	メニュー項目やバック連動線などの設定はmicroSDカードに保存されます。必ずmicroSDカードを挿入してから使用してください。

## 製品仕様

モニター	10.88インチカラー液晶(解像度:1920×480)
フロントカメラ	104°(H)、80°(V)、140°(D)、4G F=2.0
リアカメラ	118°(H)、64°(V)、148°(D)、4G F=2.2 防水性能: IP67(車外設置タイプリアカメラのみ)
録画解像度	1080P
録画モード	ループ録画
動画ファイル形式	MOV
メモリーカード	microSDカード (class10以上最大128GBまで対応)
Gセンサー	3軸加速度センサー
電源	DC5V/3A
動作温度範囲	-10°C~+60°C

※仕様はお客様に予告なく変更になる場合があります。

## ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。  
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

# 最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、  
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで  
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

# 商品保証書

本書は製品購入日から本書に定める保証期間内に故障が発生した場合に本書記載内容で無償修理する事を約束するものです。修理の際に必ず本保証書をご提示の上、ご依頼ください。

## 《無償修理規定》

■取扱説明書の注意事項に従い、かつ正常な使用状態で故障した場合に無償保証いたします。

無償修理をご依頼になる場合には、ご購入の販売店に本書を添えてご依頼ください。

■保証期間内でも次のような場合には有料になります。

- ・使用上の誤り及び過失による故障及び損害
- ・分解、改造及び保証シールが破れている場合
- ・火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異、塩害、ガス害、異常電圧、指定外電源(電圧・周波数)などによる故障及び損害
- ・購入後の移動、落下あるいは運送などによる故障及び損害
- ・本保証書のご提示がない場合
- ・本保証書に購入年月日、お客様氏名、購入代理店の記入がない場合、あるいは保証期間切れ、字句を書き換えられた場合
- ・消耗品、付属品などの交換による故障及び損害

■本製品は故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。

■本書は日本国内のみ有効です。

■本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

※修理ご依頼の場合、データ検索のため、以下の欄にご購入時に記入したお客様データをご記載ください。

〈お客様氏名〉 様	〈故障内容〉※具体的にお書きください。
〈電話番号〉	
〈ご住所〉	
〈販売店〉	〈購入日〉

**MAXWIN**  
昌騰有限会社

商品についてのお問合せは  
購入された販売店または

**support@maxwin.jp**  
へお問い合わせください。

***MAXWIN***